

那珂川町総合振興計画

Nakagawa-machi Comprehensive Development Plan

「那珂川町総合振興計画」は、合併後に策定した基本構想に基づき「今やるべきこと」「今できること」を的確・確実に取り組み、新たなまちづくりを町民の皆さんとともに進めることとし、目指すべき将来像を、

- 人や物が安全でスムーズに行き交うまち
- 豊かな自然のなかで誰もが健康で生活できるまち
- 魅力ある地域資源のネットワークにより人がにぎわうまち
- 地方分権に対応した行財政改革と住民自治が確立したまち

と設定しました。これをもとに「まちづくりの基本目標」を掲げ、限られた財源を効率よく、かつ効果的に活用するよう、選択と集中を徹底して町のブランド開発や企業誘致等各種施策に取り組んでまいります。

豊かな自然と文化にはぐくまれ やさしさと活力に満ちた まちづくり

Developing a town brimming with kindness and vitality while nurturing our abundant natural & cultural heritage



【まちづくりの基本目標】

- 1 安全・快適なユニバーサルデザインのまちづくり >>>
- 2 笑顔あふれる元気で心あたたかなまちづくり >>>
- 3 人を育て未来を拓くまちづくり >>>
- 4 人がにぎわい活力あるまちづくり >>>
- 5 豊かな自然と共生するまちづくり >>>
- 6 改革への道—行財政改革の推進、住民参加・協働の推進 >>>

安全・快適なユニバーサルデザインのまちづくり

日常生活において安心が実感できる生活環境基盤の整備・充実を図ります。



デマンドタクシー「なかちゃん号」

那珂川町に残る歴史ある街並みや緑と清流が織り成す美しい自然環境を後世に伝えつつも、町民の誰もが利用しやすく安全で快適に過ごせるよう、長期的展望に立った適正かつ効率的な土地利用を推進し、道路・公園・下水道といった都市機能を充実させ、自然環境と調和したまちづくりを目指しています。

人と環境にやさしいユニバーサルデザインの道路交通環境の整備を進めるため、広域的交通、均衡ある発展、町民の生活利便性の向上など、あらゆる観点から効果的で効率的な道路整備や公共交通機関の整備を推進しています。例えば高齢者等のマイカーを利用できない方々の足を確保するためのデマンドタクシーの整備もその一つです。

また、商業の活性化の面から「那珂川町馬頭広重美術館」を核とした“にぎわいのあるまちづくり”のために街なみ環境に配慮した道路整備を推進しています。

誰もが自然の豊かさと安らぎを実感できるよう、気軽に立ち寄れる小公園や緑地帯を整備するとともに、住民参加の緑化活動を積極的に支援しています。



緑の多い歩道



ケーブルテレビで自主番組等を放送



下水処理施設（馬頭浄化センター）



町有住宅（サン・コーポラス馬頭）

Universal design for the development of a safe and comfortable town



街なみ環境整備事業



キーワード

ユニバーサル デザイン

Keyword
Universal Design

若年層から高齢者までが安心して暮らせる居住空間を計画的に供給するとともに、快適で安全な生活環境の向上に努めています。また、上水道基盤の維持管理や水源確保、下水道基盤の整備を図り、安定した水道水供給と適正な汚水処理を推進しています。

消防、防災、交通安全、防犯基盤の整備強化により、災害に強いまちづくり、事故や犯罪のない安全なまちづくりを目指しています。

地域高度情報化による行政サービスの導入など、ケーブルテレビを核とした地域高度情報化・ネットワーク化を促進させ、「誰もが、いつでも、どこでも」情報通信技術（ICT）の恩恵を受けられる環境づくりを推進しています。

※ユニバーサルデザイン（Universal Design）
全ての人のためのデザイン、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初から誰もが利用できるようにデザイン（設計）すること



町消防団通常点検



コミュニティバス



交通安全教室



キーワード

笑顔がつくる 健康な体

Keyword
The joy of good health

子どもからお年寄りまでだれもが心身ともに健康で「いきいきと暮らせる町」を目指し、乳幼児から高齢者まで一貫した健康管理ができる体制づくりを強化しています。町民一人ひとりが「健康をつくる」意識を高め、健康な生活習慣づくりができるよう、幼児期から望ましい習慣が身につけられるような取り組みや、無理なく実践できる運動の導入、歯と口腔の健康を保つための「8020運動」等の環境を整備しています。

だれもが住み慣れた地域で互いに支え合いながら安心して暮らせる地域社会の実現のために、保健・医療・福祉・介護の連携により、在宅福祉サービスの充実や、高齢者や障がい者にやさしいまちづくりを目指しています。また、だれもが生きがいを持って暮らせるよう、社会参加活動や生涯学習、ボランティア活動の一層の充実を図っています。

笑顔あふれる元気なまちづくり

保健・医療・福祉・少子高齢化対策などの充実に努めます。



わかあゆ保育園



乳児健診



*Development of a
friendly and
warm-hearted town*



みんなの子育て広場



子育て支援センター

少子化に対しては、安心して出産・子育てができるよう、保健・医療・福祉・教育、そして地域社会が一体となった総合的な子育て支援体制をさらに強化するため、子育て支援センターを拠点として、子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの育成支援等を図り、未来を担う子どもたちが健やかに育つための環境整備に努めています。

医療費適正化対策などにより健全な保険事業の運営を図るとともに、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険等における各種施設やサービスの充実に努めています。

人権擁護や男女共同参画においては町民一人ひとりが互いを尊重しあい、性別に関わりなくその個性と能力をあらゆる分野で発揮できるよう、町民の意識改革や普及啓発活動に努めています。また、青少年がそれぞれの夢に向かって前向きに、かつ社会的に自立した個人として成長できるよう、家庭・学校・地域が一体となって青少年の健全育成に力を注いでいます。



人権の花運動



社会を明るくする運動



介護予防事業

人を育て未来を拓くまちづくり

広い視野を持った人材を育成するために、文化の振興と国際交流の推進に努めます。



電子黒板を使った授業

「いきいき栃木っ子3あい運動(学びあい、喜びあい、はげましあい)」を推進するための教育環境を整備し、地域の特性を活かした特色ある学校教育や生涯学習の充実を図っています。一人ひとりの個性を尊重しながら、豊かな心を持った児童・生徒の育成に力を注いでいます。また、高度情報化社会に対応した能力を身につけるために、コンピュータや通信ネットワークを活用した情報教育の充実にも努めています。

生涯学習を奨励するために生涯学習施設の整備や人材の育成に努めるとともに、「いつでも、どこでも、だれでも」学ぶことができる学習機会や成果発表の場の充実を図っています。

国際化については、海外体験学習や国際理解教育、語学教育、国際交流事業などの充実を図り、国際化に対応したまちづくりや国際的な視野を持った人材の育成に努めています。



国際交流ウィークエンドinなかがわ



ホースヘッズ村との交流(青少年海外体験学習)



小学校読み聞かせボランティア



マイチャレンジ事業(職場体験)

*Development of a town
that educates residents to
lead the future*



那珂川町第九を歌う会



まほろばの里スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）

町民が身近に芸術・文化に親しむことで幅広い教養を身につけ、地域の文化活動にも積極的に参加できるよう、生涯学習と連携した総合的な文化振興を図っています。また、本町の歴史的・文化的な資源を有効活用するとともに、地域に密着した生活文化や伝統芸能を保存・継承し、郷土の文化に誇りが持てるまちづくりを進めています。

スポーツやレクリエーションに関しては、「町民一人1スポーツ」を目標に各種スポーツの振興や体育施設の充実を図るとともに、町民自らが運営する総合型地域スポーツクラブの運営を支援するなど町民の健康づくりに努めています。



ゆりがねマラソン大会



キーワード

人と人との交流

Keyword
Interpersonal Interaction

人がにぎわい活力あるまちづくり

地域の特性を活かした農林水産・商工業の振興を図ります。



アユとマスのつかみどり大会



キーワード

地域の特性

Keyword Local characteristics

首都圏に近い地の利を活かし、消費者の多様なニーズに対応した競争力のある農業の確立を目指すとともに、グリーンツーリズムなど都市部との交流を通じた地域の活性化、地産地消による安全・安心な地元農作物の生産振興を図っています。平成22年度から休耕田を利用して栽培が始められたマコモタケは、中国から伝わったといわれるイネ科の多年草で、低カロリーな上に食物繊維が豊富であること、さらに血圧を下げる効果もあり、各方面から注目されています。

また、環境保全への対応として家畜排せつ物の適正な管理対策に取り組みながら、ブランド性の高い畜産物の生産振興を目指しています。



マコモタケの収穫



高手の里(町有地を20年間無償で貸与)



イノシシ肉加工施設とシンボルマーク

Development of an energetic town with active people



ホンモロコの取り上げ

商工業においては魅力ある商業空間の整備や商店街活性化事業の推進とともに、産学官連携による商品開発や優良企業の誘致に努め、町民の雇用の場を創出しています。なかでも新たな試みとして、全国で初となる地元温泉資源を有効活用した温泉トラフグの養殖は、平成23年度に初出荷され、町内の飲食店や旅館等で取り扱われています。また、関西で高級魚として扱われているホンモロコも養殖実験しており、休耕地を養殖池として活用できることから、遊休農地の解決策としても期待されています。

温泉トラフグの養殖



本町には緑と清流に恵まれた豊かな自然環境をはじめ、古代から受け継がれてきた歴史文化資源、温泉やゴルフ場、キャンプ場などのスポーツ・レジャー資源など、この町ならではの魅力的な観光資源を有しています。

「那珂川町馬頭広重美術館」を核とした新しい観光ルートを開発するとともに、特産品の開発や郷土料理の掘り起こしなど、地域の特性を活かした観光サービスを充実させ、交流人口の増加と地域経済の活性化を図っています。

また、ホームページを通して観光情報の提供や隣接自治体と連携した広域的な観光施策を推進させ、「交流」をキーワードにした地域の活性化に努めています。



那珂川町夢まつり

豊かな自然と共生するまちづくり

広域的な視野に立って自然環境や生活環境の保全対策を図ります。



ヤマメの放流

豊かな自然や環境の保全・活用に関する施策を「自然・環境との共生推進プロジェクト」と位置づけ、大切な財産である豊かな自然環境を保全し、住民・事業者・行政が共に知恵を出し合い、共に行動することで豊かな自然と共生するまちづくりを推し進めています。

また、自然環境や景観を保全するために無秩序な開発を防止し、土地利用の適正化を図るとともに、土地利用計画を踏まえた総合的な自然環境保全のための基盤整備を進めています。

さらに、自然とのふれあい活動や保全活動、環境美化活動を充実させることで町民の自然環境に対する意識を高め、環境に配慮した生活行動のできる人づくりに努めています。



橋脚へ環境保全を呼びかける壁画を描く学生たち

Development of a town that peacefully coexists with in its abundant natural surroundings



環境教育用
小冊子



マイバッグ

学官連携校 宇都宮メディア・アーツ専門学校

那珂川町の学官連携校である宇都宮メディア・アーツ専門学校は、町と協働して様々な事業に取り組んでいます。

小学生を対象とした環境教育用の小冊子を制作したり、各家庭に配布されたマイバッグデザインの仕上げをしたり、武茂川の橋脚へ環境保全を呼びかける壁画を描いたりしています。

また、那珂川町を紹介するPR番組の制作や、「温泉トラフグヒレ酒セット」などの新商品のパッケージデザイン制作も行っています。

さまざまな環境問題がクローズアップされている今、地方自治体においても環境への取り組みは早急な課題になっています。本町では「大量生産・大量消費・大量廃棄社会」に代わる循環型社会の構築を目指し、「リデュース(ごみを出さない)」「リユース(再使用する)」「リサイクル(再生利用する)」の3Rを官民一体となって推進していきます。「リデュース」「リサイクル」については、ごみの分別収集が徹底されるよう、町民意識の高揚を図り、ごみの減量化・再資源化の推進に努めます。また、「リユース」については町内に存在するバイオマス資源の有効な活用法を調査・研究するなど、地球温暖化防止に向けた省エネルギーや省資源などの活動を促進させ、町民の環境保全への意識啓発に努めています。

また、行政と町民の協働によりごみの不法投棄ゼロを目指した施策を強化し、適正な廃棄物処理対策を推進しています。



小川中学校の屋上に設置した「太陽光発電システム」



道路・河川清掃活動



キーワード

循環型社会

Keyword Recycling-based society

棚田（健武地内）





キーワード

町民と行政による まちづくり

Keyword
Town development
collaboration between
residents and local government

改革への道——行財政改革の推進、住民参加・協働の推進

町の身の丈に見合った地方自治の確立と健全な財政運営ができる「小さな行政」を目指します。



窓口業務



「ボランティア盛谷協議会」が整備したポピー園で行われた「ポピー祭り」(協働のまちづくり推進事業)

行財政改革に関する施策を「行財政改革推進プロジェクト」と位置づけし、財政の健全化、自主財源の確保、財源の重点的・効果的な配分を図り、財政運営の質的充実と効率化を目指しています。例えば、すべての公共施設・事務事業においては毎年度、実施計画を策定し、「計画・実行・検証・見直し」のサイクルによる進行管理を行うとともに、統廃合や民間委託等を推進（指定管理者制度の活用を含む）させ、事務の効率化と質の高い行政サービスの提供に努めます。

また、本町では、地方分権社会に対応した町民と行政が共に考え、地域の実状にあったまちづくりを進めていこうと「地域住民との協働によるまちづくり」を推進しています。情報の共有化とコミュニケーションの強化を図るべく、情報公開や情報提供を積極的に推進していくとともに、住民の意向を行政施策に反映させるべく、広報・公聴の充実とパブリックコメント制度の確立を目指しています。さらに、地域の自治組織の活動支援、ボランティア活動、NPOの育成支援策などにも積極的に取り組んでいます。



大金市美議長 阿久津武之副議長



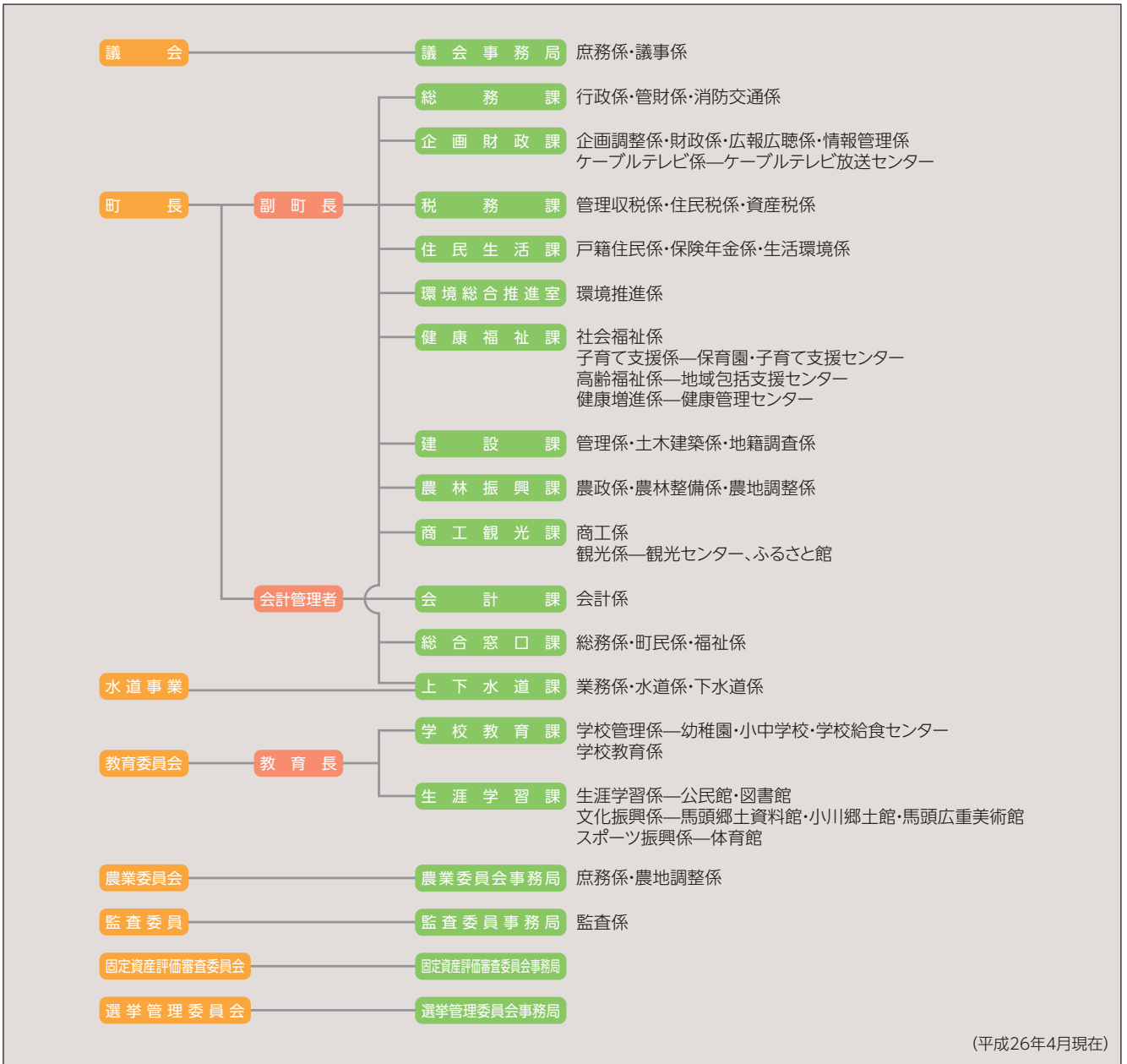
左から佐藤良美副町長、福島泰夫町長、小川成一教育長



那珂川町議会議員

*Path to innovation —
Promotion of administrative
and financial reforms and
the participation and
collaboration of local
residents*

那珂川町の組織図



キャラクター・愛称と姉妹・友好都市

<p>イメージキャラクター なかちゃん</p> <p>「なかちゃん」は、当町の町名の由来となった、町の中央部を流れる「那珂川」をイメージしたキャラクターです。頭とマフラーは川の流れを表し、顔には、清流に住む「アユ」を乗せています。平成22年10月3日生まれの子です。</p> 	<p>ケーブルテレビ愛称・ロゴ なかTV</p> <p>平成21年4月にケーブルテレビ高度化事業が竣工し、町内全域で地上デジタル化への対応が可能になり、高速インターネットや音声告知・緊急放送などが利用できるようになりました。その町ケーブルテレビの愛称「なかTV」とロゴマークです。</p> 	<p>姉妹都市 アメリカ合衆国ニューヨーク州ホースヘッズ村</p> <p>旧馬頭町と同じ名前であることから、平成5年にアメリカ合衆国ニューヨーク州ホースヘッズ村と姉妹都市を締結。相互に青少年海外体験学習団を派遣しあうなどの交流を行ってきました。那珂川町でも姉妹都市を締結し、交流を続けています。</p> 
<p>姉妹都市 滋賀県愛荘町(あいしょうちょう)</p> <p>滋賀県愛荘町は琵琶湖の東に広がる湖東平野にあります。国体のアーチェリー競技開催の縁で旧馬頭町と旧秦荘町が姉妹都市となりました。現在は合併後の愛荘町と那珂川町とが姉妹都市となり、様々な交流を行っています。</p> 	<p>友好都市 秋田県美郷町(みさとまち)</p> <p>秋田県美郷町は、秋田県の南部、仙北平野南東部にあります。面積が同じで地形も似ていることから、旧小川町と旧仙南村が交流を始めました。現在は合併後の美郷町と那珂川町とが友好都市として、様々な交流を行っています。</p> 	<p>友好都市 東京都豊島区(としまく)</p> <p>民間の観光交流をきっかけに、「ふくろうの街」豊島区と「ふくろう神社」の鷺子山上神社の「ふくろう」の縁から、観光交流都市協定「ふくろう協定」を平成24年3月に締結します。観光・文化を主に、住民が主体で、様々な交流が始まります。</p> 



町の花『かたくり』

早春に薄紫色の花を咲かせます。小さな花一つ一つが控えめな中にも美しく、群生する様は見る者に感動を与えることから、協働のまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい花です。
三輪地区に県内一を誇る群生地があります。



町の木『まつ』

常緑樹として周年、緑葉を茂らせることから若さ、不老長寿の象徴とされ、厳しい環境の中でもたくましく根を張り、力強く勇壮な姿は活力あるまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい木です。



町の鳥『うぐいす』

別名「春告鳥」と言われ、春の先駆けとして山里に賑わいと、人々に希望や喜びを与えてくれます。その姿と里山にこだまする美しい鳴き声は自然豊かな美しいまちづくりを目指す那珂川町のシンボルとしてふさわしい鳥です。

那珂川町民憲章

那珂川町は、清流那珂川と緑豊かな里山に抱かれ、美しい自然と歴史や文化が調和した町です。

わたしたちは、那珂川町民であることに誇りを持ち、やさしさと活力に満ちたまちづくりを目指し、ここに町民憲章を定めます。

- 一、自然を愛し やすらぎのあるまちをつくります
- 一、教養を深め 文化のかおり高いまちをつくります
- 一、仕事に励み 活力のあるまちをつくります
- 一、スポーツに親しみ 健康で明るいまちをつくります
- 一、互いに助け合い あたたかいまちをつくります



発行日 平成24年3月
改訂版発行日 平成26年6月
発行 栃木県 那珂川町
馬頭庁舎 〒324-0692 栃木県那須郡那珂川町馬頭409
TEL:0287-92-1111(代)/FAX:0287-92-2406
小川庁舎 〒324-0595 栃木県那須郡那珂川町小川2814-1
TEL:0287-96-2111(代)/FAX:0287-96-4799
URL <http://www.town.tochigi-nakagawa.lg.jp/>
制作・印刷 (株)松井ピ・テ・オ・印刷